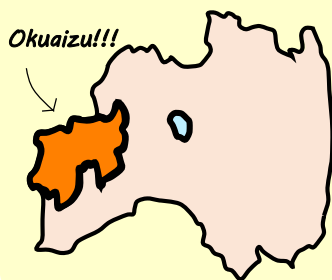




## 基礎調査の結果は…



奥会津インフラツーリズムの推進に向け、令和2年度に各インフラの受入体制や観光資源としての魅力度について基礎的な調査を実施しました。その結果、宮下ダム、上田ダム、第二沼沢発電所、田子倉ダム、本名ダム、道普請体験の6つのコンテンツがより魅力の高いコンテンツとして抽出されました。

また、インフラごとに誰がどのように楽しめるのかを分析し、個人旅行の他に企業研修、教育旅行にもニーズがあることが分かりました。



- ①川口高校と連携した道普請体験を視察
- ②本名ダムと第六只見川橋梁
- ③商談会で奥会津の魅力をPR
- ④田子倉ダムの堤頂部
- ⑤田子倉ダムの監査廊内

商談会には地元の観光団体や自治体も参加し、それぞれの魅力を旅行事業者にPRしました。

結果として、旅行事業者1社が令和3年11月に奥会津インフラツーリズムを商品として売り出しました。

## 教育旅行に企業研修 ニーズはさまざま



### 【モニターツアー行程】

- 1日目  
会津若松駅 ▶ 道普請体験 ▶ せせらぎ荘(昼食) ▶ 本名ダム ▶ 柳津温泉(宿泊)
- 2日目  
福満虚空蔵菩薩圓藏寺 ▶ 尾瀬街道みしま宿 ▶ 第一只見川橋梁ビューポイント ▶ 齋藤清美術館 ▶ 田子倉ダム ▶ 只見町歳時記会館(昼食) ▶ 河井継之助記念館 ▶ 奥会津水力館MIORI ▶ JR只見線乗車(会津川口駅~会津柳津駅) ▶ 会津若松駅



## 旅行事業者の声

道普請体験…世代に合わせたプログラムができれば幅広い年代に提案できる商品が作れそう/再訪動機は人とのつながりが大きい。道普請で交流した方と再度触れ合えるイベントがあればいいのでは/調整が必要だが魅力的。今後のブラッシュアップに期待

本名ダム…新たな只見線ビューポイントとして仕掛けができそう/ダムをさまざまな角度から視覚的に堪能できて満足 知識的な部分の満足度がガイドに大きく依存する/ダム単体では他のダムとの差別化がしにくい

田子倉ダム…全国二位の出力がある水力発電所ということもあり、施設自体の規模感も大きく気持ちが高ぶった 圧倒的なスケールに魅了された/普段入れない場所にガイド付きで入れるのはいい

音楽が流れる不思議な道路!

# 奥会津シンフォニーロード

所在地：金山町大字水沼 国道252号（磐越道会津坂下ICから約40分）

延長277.8メートル。平成26年に県内で初設置。時速50km/hで走行すると「カントリーロード」が流れます。路面に特定の間隔で溝を刻むことで音楽を作り出しています。路面凍結防止にも。



## 奥会津 インフラ メモ③

### 博士トンネルを視察 工事期間中の貴重体験

## 変

令和3年10月、一般の方を対象に工事中インフラをメインとした日帰りのモニターツアーを実施しました。

令和2年度に実施したモニターツアーでは、3つに分類されるインフラコンテンツのうち、供用中、体験型を巡り、各施設での感想や意見を寄せていただきました。工事中のインフラについては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み視察を中止していました。

見学したのは会津美里町と昭和村をつなぐ博士トンネルの工事現場です。既に貫通しているトンネル内部を吹付コンクリートとロックボルト（鋼棒）、防水シートで補強し、見栄え等をよくするために覆工コンクリートを施す様子など、トンネル工事の一連の流れを視察しました。参加者からは「説明が分かりやすく楽しかった」「普段立ち入れないところが見られてよかった」「今しか見られない内容で非常にいい」など、工事現場ならではの体験を評価する声が多く聞かれました。

その他、観光拠点施設の喰丸小や第一只見川橋梁ビューポイント、第二沼沢発電所などを巡りました。

ふむふむ



②トンネル坑口で記念撮影



③ロックボルトのキャップ装着体験



①工事中の博士トンネル内を視察

一般の方を対象に2年間に渡って実施したモニターツアーから、奥会津インフラツアーを推進する上でのポイントと課題が見えてきました。

### ●インフラ + 食、絶景

### ●組み合わせが重要

### ●関心を惹きつけるガイドがあるか

### ●日帰りツアーが適切

### ●道普請体験をする場合は宿泊も

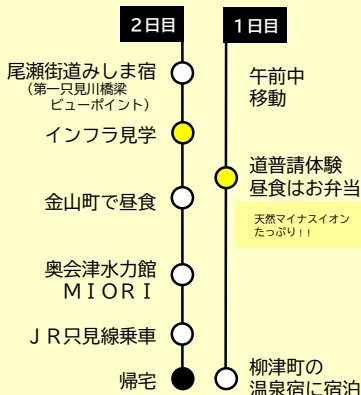
### モデルコースを設定 日帰り、1泊2日の旅

## 作

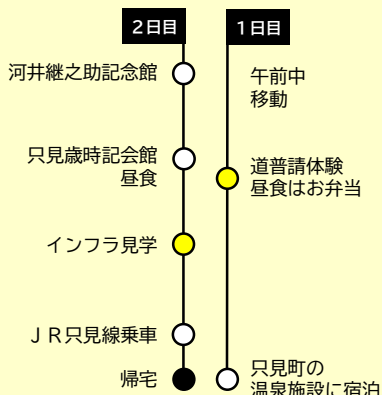
令和2、3年度の事業成果から、奥会津インフラリズムのモデルコースを作成しました。



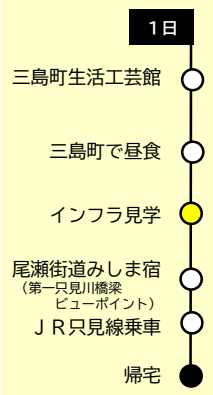
### ①道普請体験とインフラ観光の1泊2日



### ②道普請体験、只見線再開通エリアと 周辺インフラ観光の1泊2日



### ③日帰りの旅



### 編集後記

銚（かすがい）打ちや丸太の運搬、土のう袋の扱いなど全てが初体験でしたが、地元の方と交流しながらの作業はとても楽しく、充実した時間となりました。道が少しずつ出来上がり、作業の成果が形となって目に見えるのがおもしろく、時間を忘れて没頭できました。体を動かし、汗を流した後自然の中で味わうお弁当と温かいコーヒーは、どうしてあんなにもおいしいのでしょうか。

「百聞は一見に如かず」と言いますが、道普請体験はまさにそれでした。実際やるとハマる人、多いかもしれませぬ。きれいな空気を吸いたい、日々の生活から少し抜け出したい、そんな方々におすすめします。ただし、次の日は全身筋肉痛です。（吉田）

### 【ご意見・お問い合わせ】

福島県会津若松建設事務所 企画調査課

MAIL : wakamatsu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp

TEL : 0242-29-5455

FAX : 0242-29-5459